

beat/basic サービス 設定手順書

富士ゼロックス株式会社
2009年7月

はじめに

【beat/basic サービスをご利用のお客様へ】

beat/basicサービス をご契約いただき、まことにありがとうございます。
beat/basicサービスをご利用の前に、正しく安全にご利用いただくため、beat-boxと同梱されている「ユーザーズガイド」を必ずお読みください。

beat-boxは、電源のオン/オフの方法や、設置条件などが、通常のネットワーク機器とは若干異なりますので、「ユーザーズガイド」に記載の指示に従ってください。

2009年 7月
富士ゼロックス株式会社

【本書について】

本書では、beat-boxの設置が完了した直後からメール設定までの基本設定について説明します。
このほかのbeat/basicサービスについての詳細は「ユーザーズガイド」またはbeat設定ページの「オンラインヘルプ」をご覧ください。

【本書をご使用になる際の注意】

- 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に誤り、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
Microsoft, Windows, Outlook Expressは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標です。

【本書に記載されている内容についての注意】

- 本書に記載されている操作手順、画面やメッセージは、お使いのPCにインストールされているOSのバージョンや、beatサービスの契約内容によって異なることがあります。
- 本書に記載されている操作手順の説明で用いているメールアドレスやパスワードなどは入力例です。実際にお客様が入力する文字列とは異なります。
- beat/basicサービスの機能や操作方法は予告なく変更されることがあります。

目次

【beat-box の設置が終わったら】

beat-boxの設置が終わったら次にbeat/basicサービスの基本設定（パスワード変更やメール設定など）を行います。



beat-box の設置完了

基本設定（※本書で説明しています。）

beat-box責任者が行う作業



1. パスワード変更します 4ページ

2. 利用者を追加します 7ページ

責任者が行う
基本設定

利用者が行う作業



3. パスワード変更します 10ページ

4. 自身の情報を設定します 13ページ

5. メールの設定*をします
外部IDCをご利用の場合
beat/idcをご利用の場合
15ページ
26ページ

利用者情報の
設定

メールの設定

*beat/basicサービスでは、複数のIDCを使ってメールの送受信ができます。
beat/idcと外部IDCの併用も可能です。

その他の設定、利用方法



ホームページ公開
簡易グループウェア
共有フォルダー
PCクライアント用ソフトウェア

オンラインヘルプ

オンラインヘルプ
の見方



ステータスコードについて 30ページ

付録

beat-box 責任者のパスワード変更 (1/3) beat-box 責任者が行う設定です

beat-box 責任者のパスワードを変更しましょう。

beat-boxの初期設置時には、beat/basicサービスご契約時に指定したbeat-box責任者*1（1名*2）が登録されています。beat-box責任者の初期パスワードは「yKyAyfwK」となっています（大文字、小文字に注意して入力してください）。まず最初に、この初期パスワードをbeat-box責任者自身で自分だけが知っているパスワードに変更してください。

*1beat/basicサービスご契約時に指定したbeat-box責任者のほかに新たにbeat-box責任者を追加する設定は、beat-box責任者のみが行えます。
「設定>beat-box責任者管理>変更」画面で設定してください。

この設定は

- beat-box責任者が行います。
- beat-box責任者のパスワードを初期パスワードから任意の文字列に変更します。
- beat-box責任者のログインID（メールアドレス）が必要です。



1

PCでブラウザを起動し、アドレス欄に
http://beat-box:8080/
と入力します。
beat設定ページが表示されます。

用語

「beat設定ページ」とは、利用者がWebブラウザを使用してbeat/basicサービスの利用、設定を行うページです。

補足

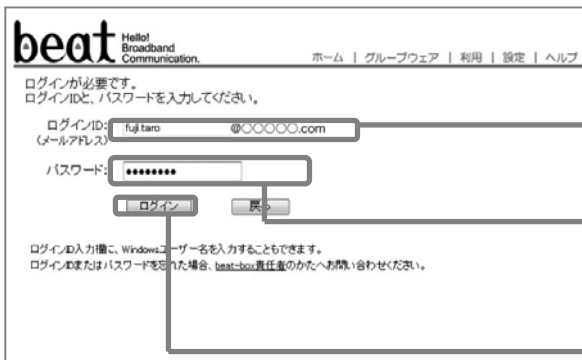
手順1でbeat設定ページにアクセスできない場合は、
http://<beat-boxのLAN側IPアドレス>:8080/
と入力してください。
（例）**http://10.0.0.1:8080/**

2

【ログイン】をクリックして、【ログイン】画面に移動します。



beat-box 責任者のパスワード変更 (2/3) beat-box 責任者が行う設定です



3

beat-box 責任者のログインID（メールアドレス）を入力します。

4

パスワード欄に「yKyAyfwK」を大文字、小文字に注意して入力します。パスワードは「●」や「*」で表示されます。

5

[ログイン] ボタンをクリックします。

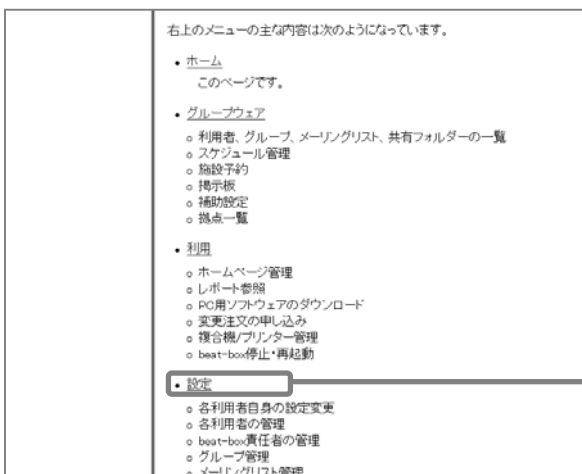


6

ログインに成功すると、[○○○○（ログインした人の名前）のログアウト] と表示されます。

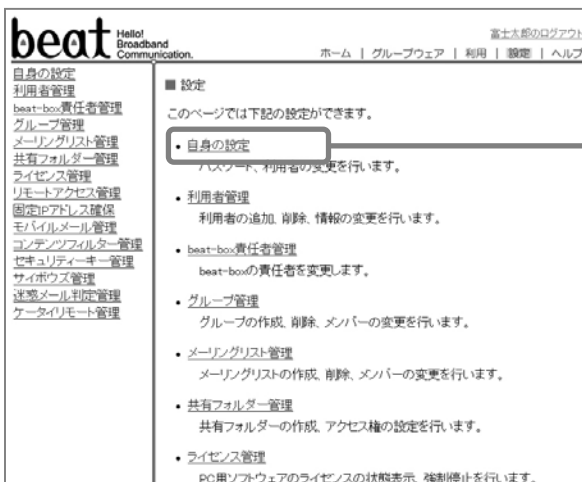
補足

beat設定ページの利用を終了したらログアウトしてください。ログアウトするには、[○○○○のログアウト] をクリックします。ログアウト確認画面で [ログアウト] ボタンをクリックします。



7

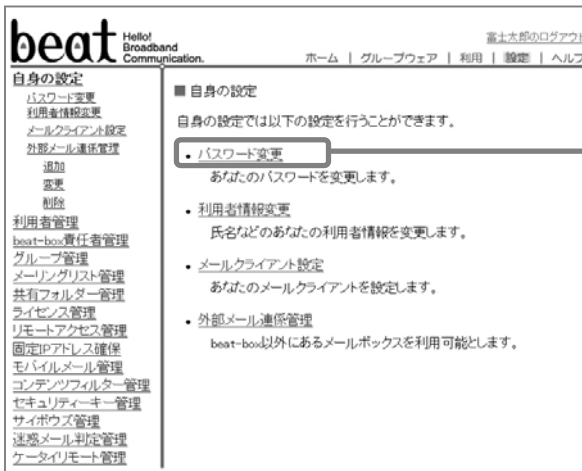
[設定] をクリックして「設定」画面に移動します。



8

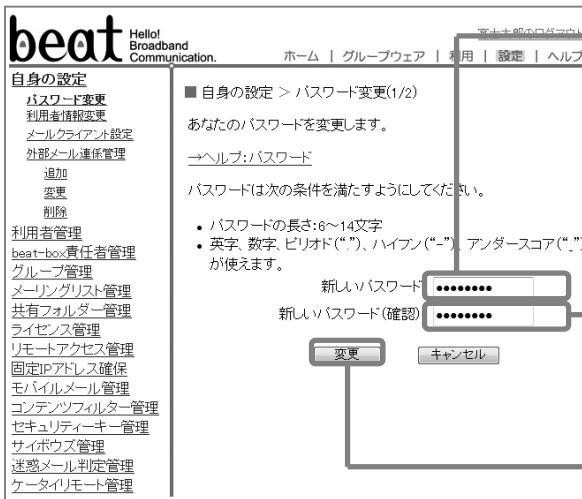
[自身の設定] をクリックして「自身の設定」画面に移動します。

beat-box 責任者のパスワード変更 (3/3) beat-box 責任者が行う設定です



9

「パスワード変更」をクリックして「パスワード変更」画面に移動します。



10

パスワード欄に新しいパスワードを半角英数字で入力します。パスワードは「●」や「*」で表示されます。

補足

パスワードは半角英数字の6文字以上、14文字以下で設定してください。アルファベットの大文字と小文字は区別されます。英数字のほか、記号の“.”(ピリオド)、“-”(ハイフン)、“_”(アンダースコア)も使用できます。

11

手順10で入力したパスワードを再度入力します。

12

「変更」ボタンをクリックします。



13

「パスワード変更」画面が表示されます。パスワードが変更されました。

補足

新しいパスワードは忘れないように注意してください。唯一のbeat-box責任者が自身のパスワードを忘れてしまった場合は、パスワードを初期設定値に戻す必要がありますので、「beatコンタクトセンター」へご連絡ください。

14

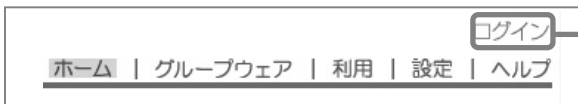
「ホーム」をクリックするか、次に利用するメニューをクリックしてください。

beat-boxの利用者を追加しましょう。

beat/basicサービスを利用するためには、beat-box 責任者がそのユーザーを「利用者」として追加しなければなりません。利用者の追加により発行されるログインID（メールアドレス）とパスワードは、beat-box責任者が利用者に伝えてください。
利用者はそのログインID（メールアドレス）とパスワードを使用して、beat/basicサービスを利用します。

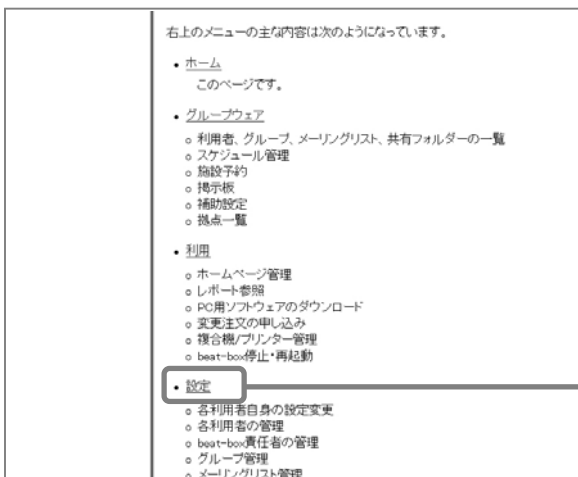
この設定は

- beat-box責任者が行います。
- beat/basicサービスを利用する「利用者」をbeat-boxに登録するための設定です。
- 登録する利用者の名前、希望のログインID（メールアドレス）を用意してください。



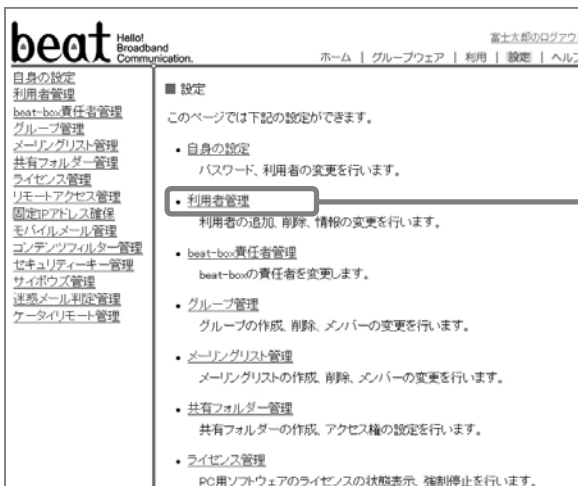
1

【ログイン】をクリックして、ログインしてください。詳しい手順は、4ページの手順1から6を参照してください。パスワード変更された方は、変更後のパスワードを用いてください。



2

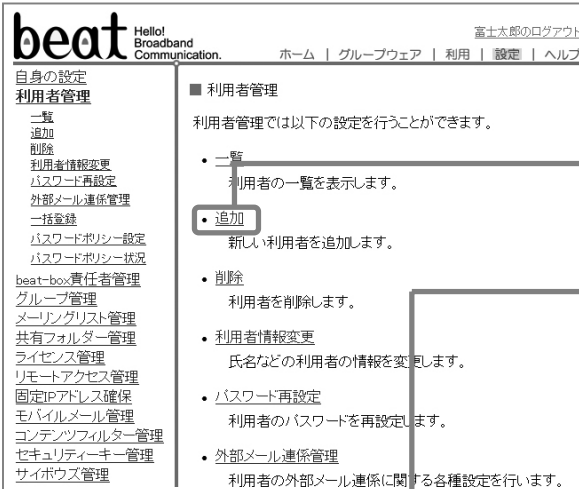
【設定】をクリックして「設定」画面に移動します。



3

【利用者管理】をクリックして「利用者管理」画面に移動します。

利用者の追加 (2/3)



4 [追加] をクリックして「追加」画面に移動します。



5 登録する利用者のログインID (メールアドレス) *を入力してください。入力必須項目です。ここでの入力により利用者のログインID (メールアドレス) が確定します。
*ログインID (メールアドレス) の文字列制限については下記 [参考](#) をご覧ください。

注意!

いったん設定したログインIDは変更できません。メールアドレスを誤って確定してしまった場合には、利用者を削除し（「設定>利用者管理>削除」）、再登録してください。

6 登録する利用者の氏名、ふりがな、Windows ユーザー名*を入力してください。
*通常は、登録する利用者が使用するPCのWindowsログイン名と同一のものにしてください。

補足

これらは入力省略可能項目です。これらの入力を省略すると、各項目にはログインID (メールアドレス) と同じ文字列が登録されます。これらはあとで利用者本人が変更できます。

7 [次へ] ボタンをクリックします。

参考

beat/basicサービスにおける [ログインID (メールアドレス)] の文字列制限について

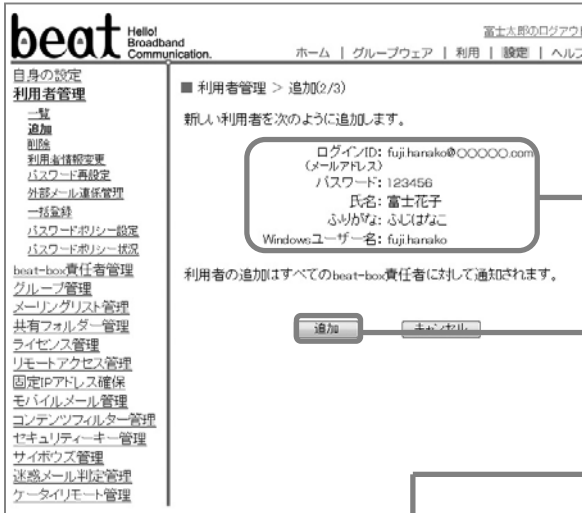
ログインID (メールアドレス) は、半角英数字の2文字以上31文字以内で設定してください。アルファベットの大文字と小文字は区別されません。英数字のほか、記号の“.” (ピリオド)、“-” (ハイフン)、“_” (アンダースコア) も使用できます。ただし、先頭の文字は英数字に限られます。

【ログインIDに使用可能な文字列】
abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
(大文字と小文字の区別はありません。) 1234567890
“.” (ピリオド)、“-” (ハイフン)、“_” (アンダースコア)

【ログインIDに使用できない文字列】
“/” “\” “~” “=” “[]” “:” “*” “!” “#” “\$” “()” (“.” (ピリオド)、“-” (ハイフン)、“_” (アンダースコア) 以外の記号)

ひらがな、カタカナ、漢字
“beat”で始まる文字列 (例: Xbeatabc, Xbeat.abc, Xbeat-abc, Oabcbeat, Oabc.beat, Oabc-beat)
次の文字列を単独で使うことはできません (例: Xadmin, Oabcadmin, Oabc.admin, Oadmin-abc)
.htaccess, adm, admin, alias, apache, bin, daemon, dbus, default, ftp, games, gdm, gopher, haldaemon, halt, ident, lp, mail, mailer-daemon, mailnull, mqueue, named, news, ncsd, nfsnobody, nobody, ntp, operator, pcap, postgres, postmaster, qmaild, qmail, qmailc, qmails, qmails, radvd, root, rpc, rpm, rpcuser, rpm, shutdown, smmsp, squidsweep, sync, tomcat, tomcat4, tty, uucp, vcsa, vpasswd, vpasswd.cdb, wnn, www, zfs

利用者の追加 (3/3)



8

「追加」画面で入力内容が正しいことを、確認してください。

9

正しい場合は[追加]ボタンをクリックします。誤りがあったり、修正が必要な場合は[キャンセル]ボタンをクリックして、手順4からやり直してください。

10

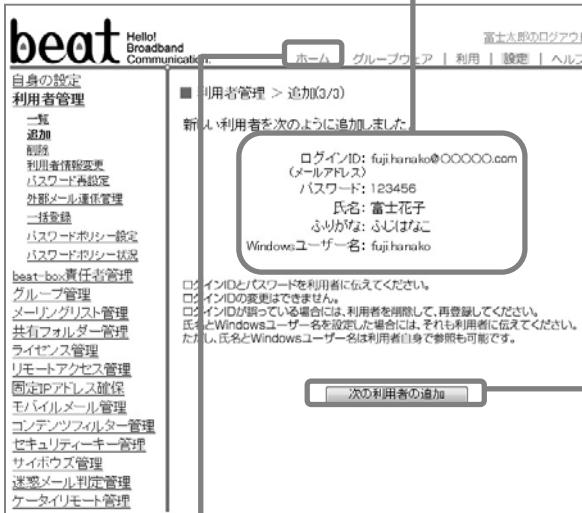
利用者の追加が完了すると、登録された内容が「追加」画面に表示されます。登録内容をbeat-box責任者から利用者へ伝えてください。

注意!

パスワードはこのページでしか表示されません。ご注意ください。

補足

パスワードを忘れてしまった場合には、beat-box責任者がパスワードを再設定（「設定>利用者管理>パスワード再設定」）する必要があります。



11

続けて他の利用者を登録する場合は[次の利用者の追加]ボタンをクリックして、手順5から10を繰り返してください。

12

利用者の登録を終了する場合は[ホーム]をクリックするか、次に利用するメニューをクリックしてください。

パスワードを変更しましょう。

パスワードは利用者本人のみが知っているべきものです。そのため、beat-box責任者から伝えられたパスワードを、利用者自身が決めたパスワードに変更してください。なお、共有フォルダを利用する場合は、ここで変更するパスワードがお使いのPCのWindowsログイン時のパスワード*と同一の文字列である必要があります。

*Windowsログイン時のパスワードの変更方法はWindowsのヘルプを参照してください。

この設定は

- 利用者が行います。
- 利用者のパスワードを任意のものに変更します。
- beat-box責任者から伝えられたログインID（メールアドレス）、パスワードが必要です。



1

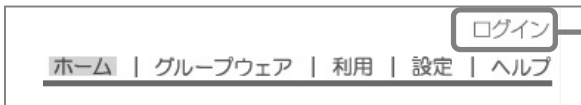
PCでブラウザを起動し、アドレス欄に **http://beat-box:8080/** と入力します。beat設定ページが表示されます。

用語

「beat設定ページ」とは、利用者がWebブラウザを使用してbeat/basicサービスの利用、設定を行うページです。

補足

手順1でbeat設定ページにアクセスできない場合は、**http://<beat-boxのLAN側IPアドレス>:8080/** と入力してください。
(例) **http://10.0.0.1:8080/**

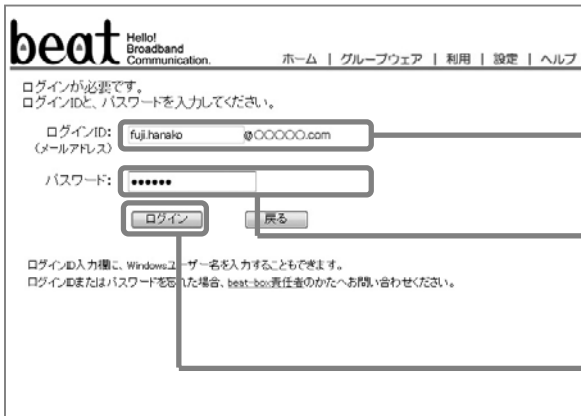


2

【ログイン】をクリックして、【ログイン】画面に移動します。

補足

利用者がログインするには、ログインID（メールアドレス）とパスワードが必要です。利用者の登録はbeat-box責任者のみが行えます。利用者登録の手順は7ページを参照してください。



3

beat-box責任者から伝えられたログインID（メールアドレス）を入力します。

4

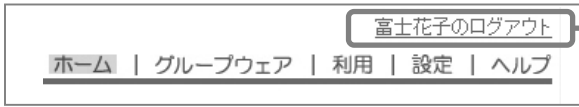
beat-box責任者から伝えられたパスワードを入力します。パスワードは「●」や「*」で表示されます。

5

【ログイン】ボタンをクリックします。

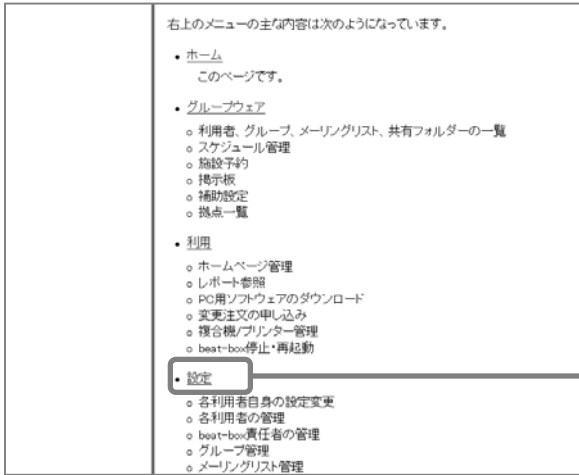
利用者のパスワード変更 (2/3)

利用者が行う設定です



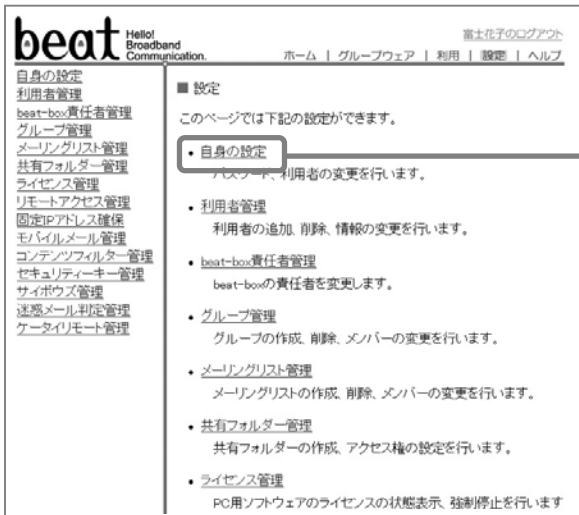
6

ログインに成功すると、[〇〇〇〇 (ログインした人の名前) のログアウト] と表示されます。



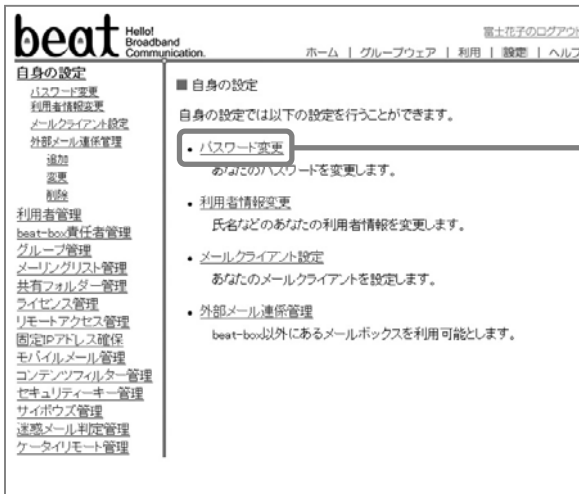
7

[設定] をクリックして「設定」画面に移動します。



8

[自身の設定] をクリックして「自身の設定」画面に移動します。

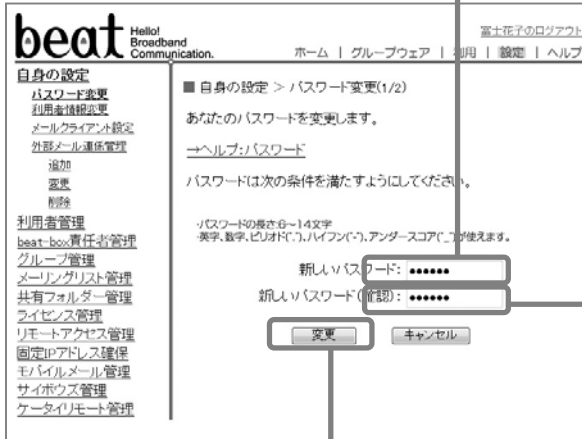


9

[パスワード変更] をクリックして「パスワード変更」画面に移動します。

利用者のパスワード変更 (3/3)

利用者が行う設定です



10

パスワード欄に新しいパスワードを半角英数字で入力します。パスワードは「●」や「*」で表示されます。

補足

パスワードは半角英数字の6文字以上、14文字以下で設定してください。アルファベットの大文字と小文字は区別されます。英数字のほか、記号の“.”(ピリオド)、“-”(ハイフン)、“_”(アンダースコア)も使用できます。

11

手順10で入力したパスワードを再度入力します。

12

[変更] ボタンをクリックします。



13

「パスワード変更」画面が表示されます。パスワードが変更されました。

補足

新しいパスワードは忘れないように注意してください。パスワードを忘れてしまった場合は、beat-box責任者に連絡して新しいパスワードを再設定してもらってください。その場合、再度利用者がパスワード変更を行う必要があります。パスワードの再設定は、beat-box責任者のみが「設定>利用者管理>パスワード再設定」画面で行うことができます。

14

[ホーム] をクリックするか、次に利用するメニューをクリックしてください。

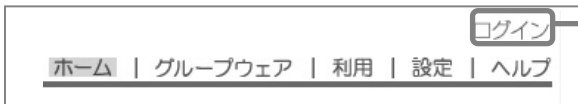
利用者情報を変更しましょう。

利用者の氏名、ふりがな、Windowsユーザー名を正しく登録します。beat-box責任者が利用者を追加したときに省略した項目を追加/修正してください。メールアドレス（ログインID）は変更できません。

- ・「氏名」は利用者名としてbeat/basicサービス上で表示されます。
- ・「ふりがな」は複数の利用者を一覧表示する際の順序を決めるために利用されます。
- ・「Windowsユーザー名」は共有フォルダを利用する際に必要となります。通常は、お使いのPCのWindowsのログイン名と同一のものである必要があります。

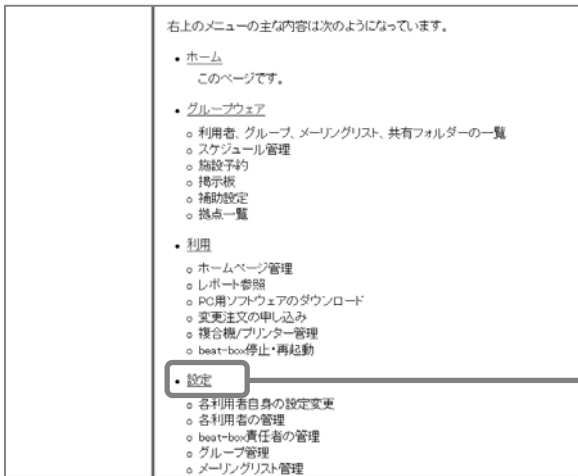
この設定は

- 利用者が行います。
- ご自身の情報（氏名、ふりがな、Windowsユーザー名）を変更します。
- ご自身の氏名、Windowsユーザー名をご確認ください。



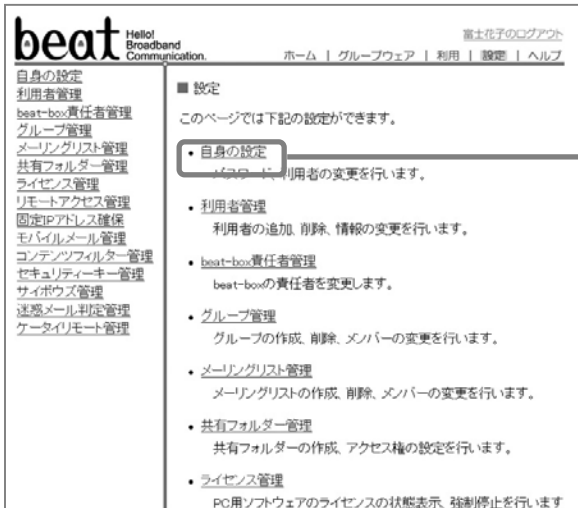
1

「**ログイン**」をクリックして、ログインしてください。詳しい手順は、**10ページ**の手順1から6を参照してください。パスワード変更された方は、変更後のパスワードを用いてください。



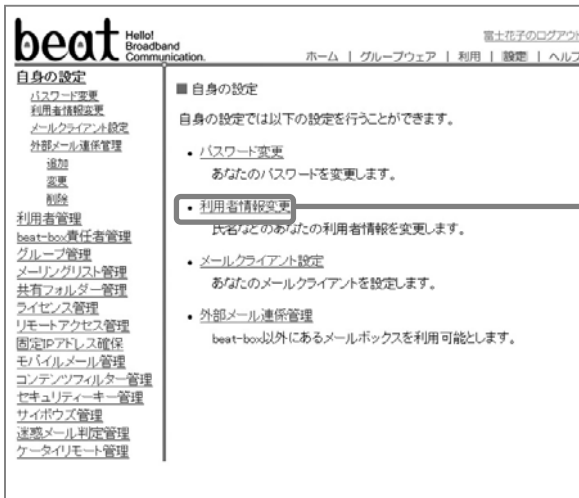
2

「**設定**」をクリックして「設定」画面に移動します。



3

「**自身の設定**」をクリックして「自身の設定」画面に移動します。



4

「利用者情報変更」をクリックして、「利用者情報変更」画面に移動します。



5

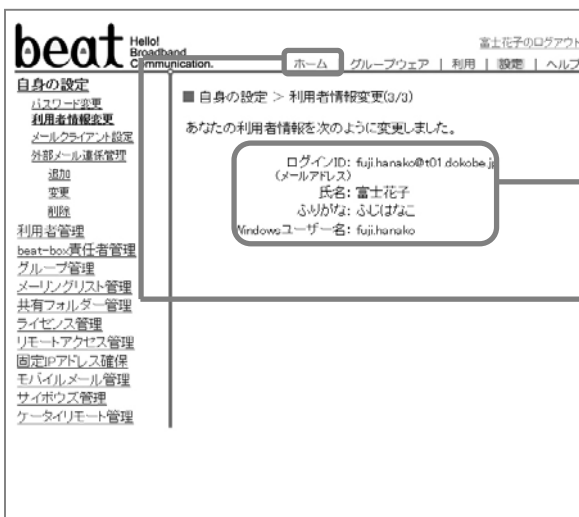
氏名、ふりがな、Windowsユーザー名を変更します。

補足

「Windowsユーザー名」は、共有フォルダにアクセスする際に使用されるユーザー名 (Microsoft Windows Networkのユーザー名) を指します。

6

「利用者情報変更」ボタンをクリックします。利用者情報が変更されます。



7

「利用者情報変更」画面で変更内容を確認します。

8

「ホーム」をクリックするか、次に利用するメニューをクリックしてください。


メール設定をはじめる前に

beat/basicサービスではIDC*1の種類によってメールの設定手順が異なります。「beat/idcホスティングサービス（オプションサービス）」をご契約で、beatサービス専用のIDCであるbeat/idcをご利用の場合は26ページ「メール設定（beat/idcをご利用の場合）」をご覧ください。それ以外のIDC（外部IDC*2）をご利用の場合はこのページから始まる「メール設定」をご覧ください。


*1 IDCとは、インターネットデータセンター(Internet Data Center) のことです。ここでは、メールボックスやホームページ公開用の、インターネット上にあるサーバーなどのディスクスペースを指します。

*2 本書ではbeat/idc以外のIDCを「外部IDC」と呼びます。

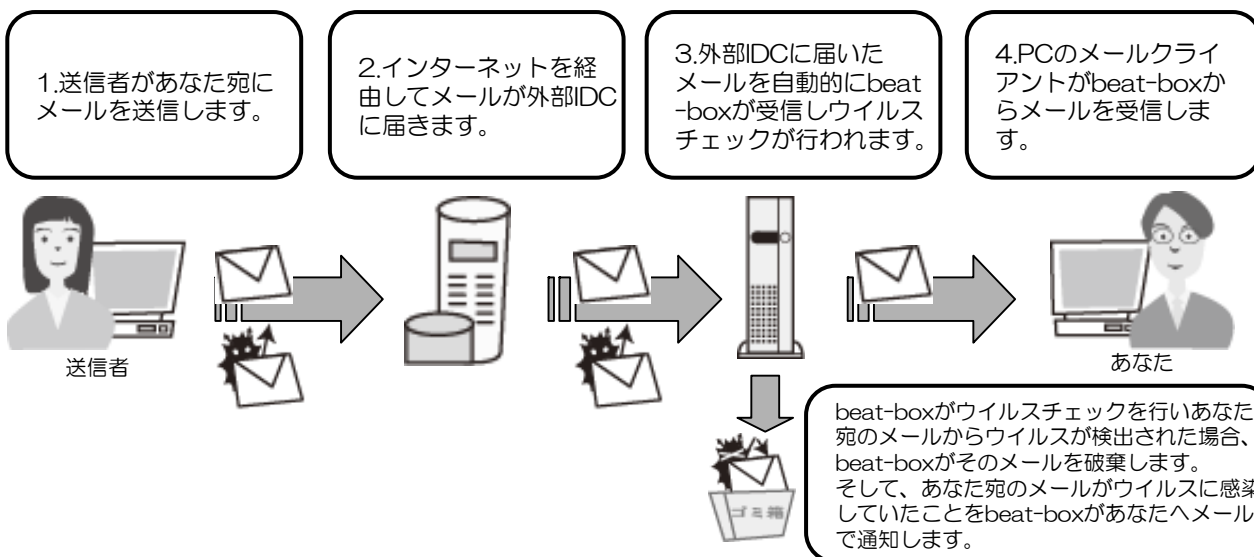
外部IDC をご利用の場合
メール設定
15ページ



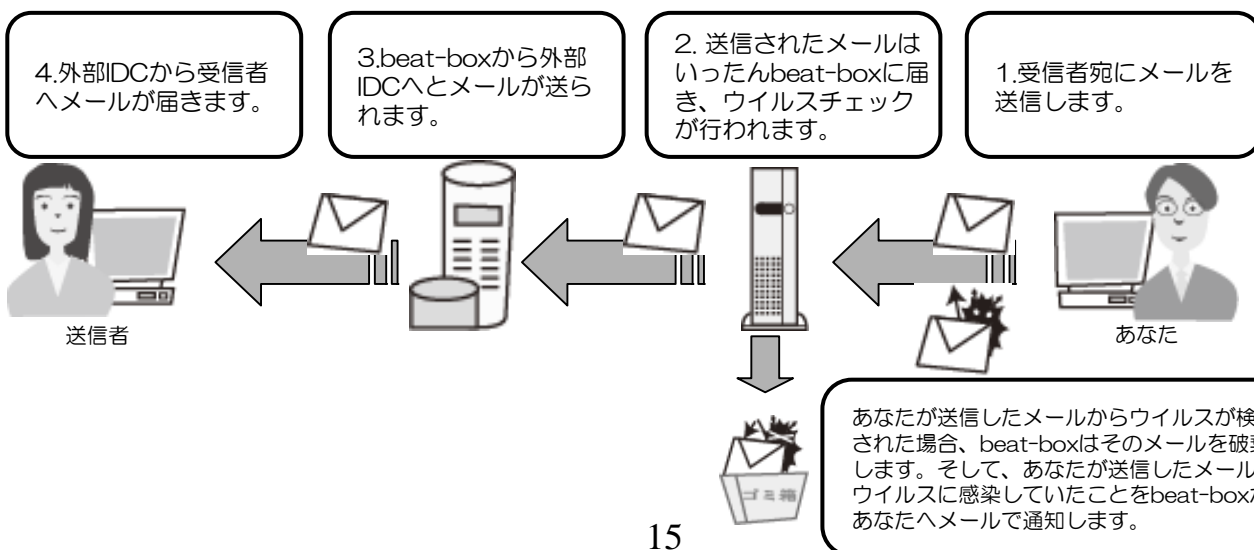
beat/idc をご利用の場合
メール設定（beat/idc をご利用の場合）
26ページ



メール受信の流れ（外部IDCをご利用の場合）



メール送信の流れ（外部IDCをご利用の場合）



メールの設定手順の概要(外部IDCご利用の場合)

外部IDCをご利用の場合、メールの送受信を行うにはbeat-boxに対する設定（外部メール関係）とメールクライアントに対する設定が必要となります。

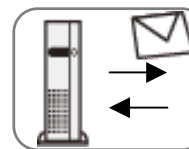
Step 0

1. beat-boxに利用者登録されていますか？
登録されていない場合はbeat-box責任者へ「利用者の追加」を依頼してください。
(beat-box責任者は7ページをご覧ください。)
2. 外部IDCとの契約はお済みですか？
この設定には外部IDCの契約内容（メールアドレス、メール受信サーバーのホスト名、メール送信サーバーのホスト名、メールボックスのアカウント名、メールボックスのパスワードなど）が必要です。
*アカウントを追加・削除する場合はご契約の外部IDCに直接お問い合わせください。



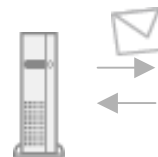
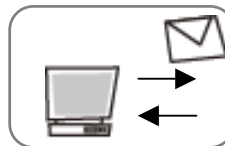
Step 1

beat-boxと外部IDC間のメール送受信の設定（外部メール関係）を行います。
(17ページをご覧ください。)



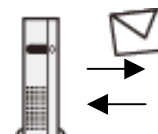
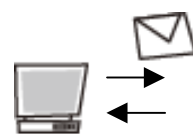
Step 2

beat-boxのメールクライアント設定にそって、
メールクライアント（PC）の設定を行います。
(21ページの手順14から29をご覧ください。)



Step 3

テストメールの送受信を行い、設定が正しいかを確認してください。
(24ページの手順30から42をご覧ください。)



メール設定に必要な設定項目の別の呼び名について

お客様のご契約の外部IDCによって項目の呼び名が異なります。ここに挙げた呼び名の例を参考にしてください。

- ・メールアドレス
メールを送受信する時のあなたのあて先です。
別の呼び名は... 電子メールアドレス、E-mailアドレス、Mailアドレス など
- ・メール受信サーバーのホスト名
あなたが宛のメールを一時的に保管するところの名前です。
別の呼び名は... POPサーバー、POPSサーバー、メールサーバー、インターネットメールサーバー など
- ・メール送信サーバーのホスト名
あなたが相手に送ったメールを一時的に保管するところの名前です。メール受信サーバーのホスト名と同一の場合もあります。
別の呼び名は... SMTPサーバー、メールサーバー、インターネットメールサーバー など
- ・メールボックスのアカウント名
メール受信サーバーに接続するために必要な名前です。一般的にメールアドレスの@マークより左側の部分がメールボックスのアカウント名になりますが、ご契約の外部IDCによって異なりますのでご不明な場合はご契約の外部IDCにご確認ください。別の呼び名は... 電子メールアカウント、E-mailアカウント、Mailアカウント、ユーザーID など
- ・メールボックスのパスワード
メール受信サーバーに接続するために必要なパスワードです。
別の呼び名は... メールパスワード、メールログインパスワード、メールサーバーパスワード など

外部メール連係を設定しましょう。

外部IDCをご利用の場合、メールの送受信を行うためには、外部メール連係の設定をする必要があります。

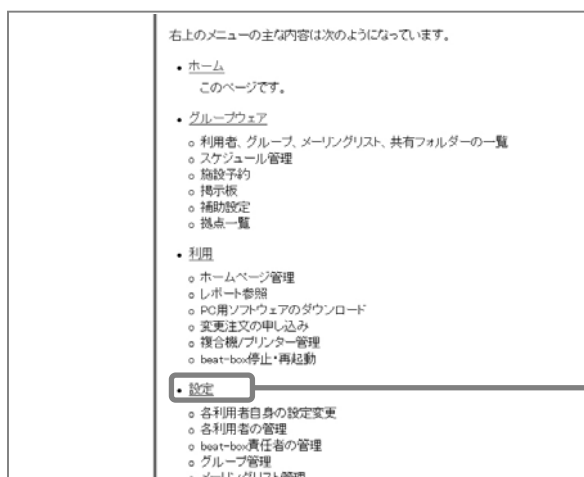
この設定は

- 利用者が行います。
- 外部IDCをご利用の場合に、メールの送受信を行うために必要な設定です。
- 外部IDCとの契約内容（メールアドレス、メール受信サーバーのホスト名、メール送信サーバーのホスト名、メールボックスのパスワードなど）が必要です。



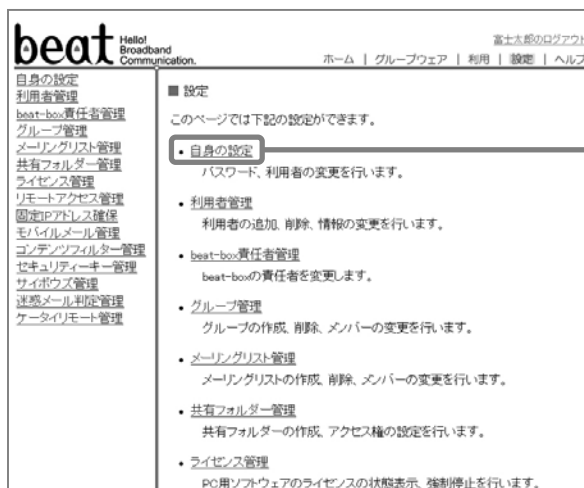
1

「**ログイン**」をクリックして、ログインしてください。詳しい手順は、**10ページ**の手順1から6を参照してください。パスワード変更された方は、変更後のパスワードを用いてください。



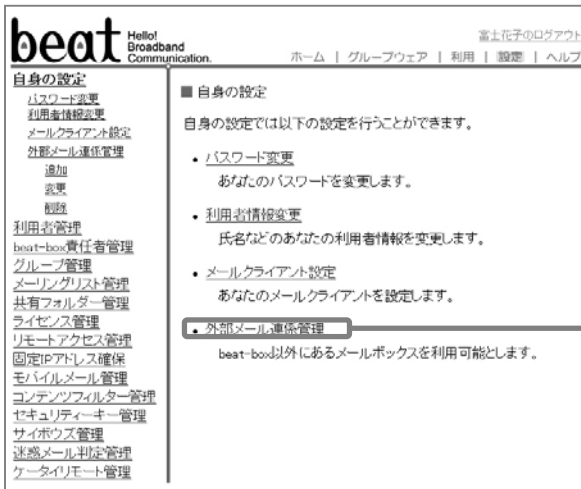
2

「**設定**」をクリックして「設定」画面に移動します。



3

「**自身の設定**」をクリックして「自身の設定」画面に移動します。



4

「外部メール連係管理」をクリックして、「追加」画面に移動します。



5

必要事項を入力します。ここで入力する項目は、お客様と外部IDCとの契約に基づくものです。詳細は、外部IDCとの契約内容を参照してください。
beat導入以前からOutlook Expressをご利用の場合は19ページの【補足】を参考に設定を移行すると簡単です。

6

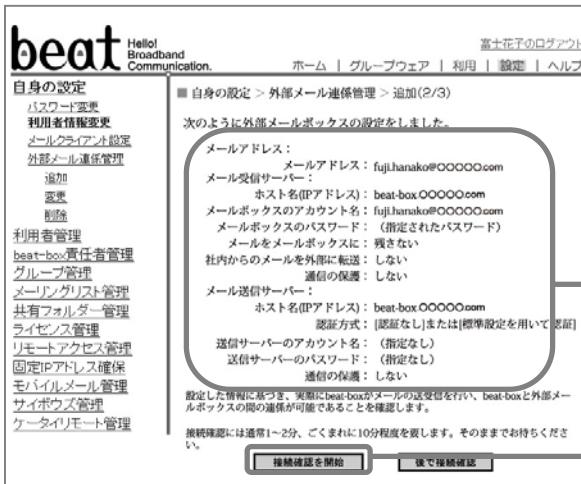
「残さない」を選択します。（自宅や社外でメールを受信する場合は「残す」を選択します。）

注意!

外部IDCにメールを「残す」か「残さない」を設定します。「残す」を選択した場合は、メールクライアントでサーバーにメールのコピーを置くように設定してください。また、その場合は外部IDCにメールが溜まり続けますので、メールクライアントの設定でメール保存期間を設定することを推奨します。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

7

「設定」ボタンをクリックします。



8

「外部メール連係管理」画面で、入力内容が正しいか確認します。修正が必要な場合は「戻る」ボタンをクリックして、手順5からやり直してください。

9

正しい場合は「接続確認を開始」ボタンをクリックします。



10

beat-boxと外部IDCの通信が確認されると、「外部メール関係追加」画面が表示されます。これで外部IDCとbeat-box間でのメール送受信の設定（外部メール関係）が完了しました。次にメールクライアントの設定をします。

11

「メールクライアント設定」ボタンをクリックします。



12

これからメールクライアント設定をするメールアドレスが選択されていることを確認してください。

13

「次へ」ボタンをクリックします。beat設定ページのガイドにそってメールクライアントの設定を行います。21ページへ続きます。

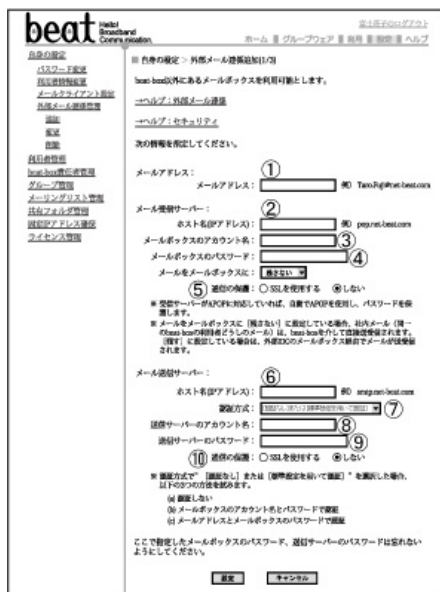
補足

beat導入以前からOutlook Express をご利用の場合

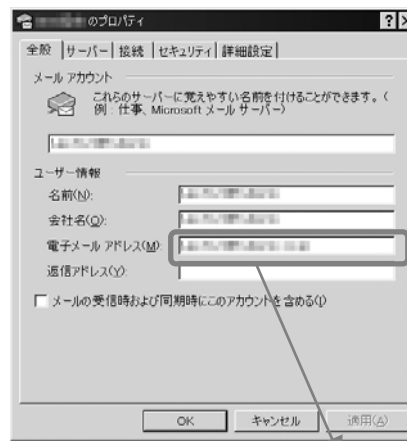
ここでは、beat導入以前にOutlook Expressをご利用のかた向けに、Outlook Expressの設定内容を外部メール関係に移行する方法を説明します。

*この本書では、メールクライアント(電子メールソフト)の設定例として「Outlook Express 6.0」の設定方法を紹介いたします。

beat設定ページ「外部メール関係追加 (1/3)」画面



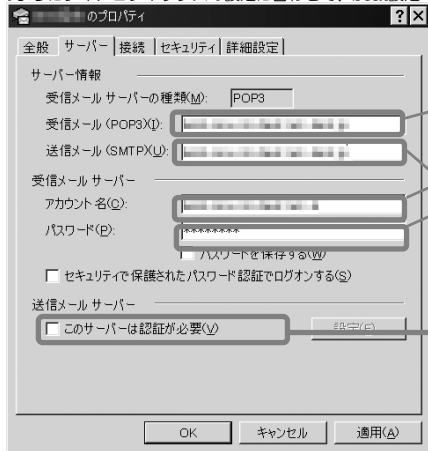
1. Outlook Expressを起動します。
2. メニューから「ツール」をクリックし、プルダウンメニューから「アカウント」を選択します。
3. 開かれたダイアログボックスの「メール」タブをクリックします。
4. 外部メール関係に設定するメール設定のアカウントをクリックして選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。
5. 新たに開かれたダイアログボックスの「全般」タブをクリックします。ダイアログボックスの「電子メールアドレス」をbeat設定ページ「外部メール関係追加 (1/3)」画面の①に入力します。



メール設定 (5/10)

6.ダイアログボックスの[サーバー]タブをクリックします。

次のようにダイアログボックスの設定に合わせて、beat設定ページ「外部メール連携管理」画面の②～④⑥⑦と、必要に応じて⑧⑨を指定します。



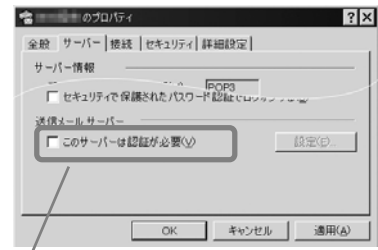
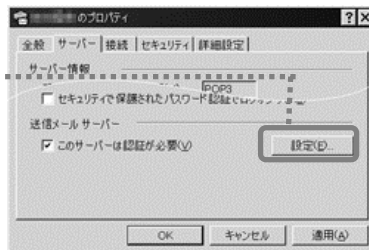
メール受信サーバー:
 ホスト名 (IPアドレス) : 例) pop.net-beat.com②
 メールボックスのアカウント名 : ③
 メールボックスのパスワード : ④

注意!
 パスワードはOutlook Express上では「*」で表示されます。また、コピーできません。ダイアログボックスの【パスワード】に入力したものと同一パスワードを入力してください。

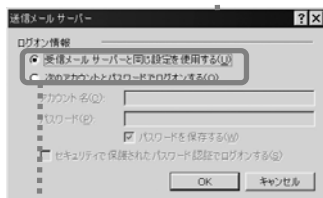
メール送信サーバー:
 ホスト名 (IPアドレス) : 例) pop.net-beat.com⑥

チェックあり

チェックなし



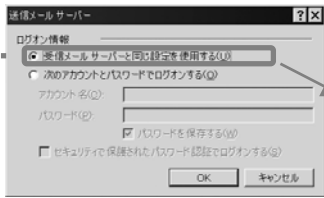
メール送信サーバー:
 認証方式: [認証なし]または[標準設定を用いて認証] ⑦



受信メールサーバーと同じ設定を使用する

メール送信サーバー:
 認証方式: [認証なし]または[標準設定を用いて認証] ⑦

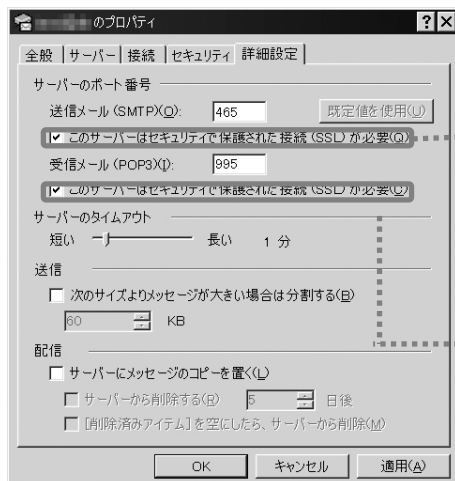
次のアカウントとパスワードでログインする



メール送信サーバー:
 認証方式 : 指定する ⑦
 メール送信サーバーのアカウント名 : ⑧
 メール送信サーバーのパスワード : ⑨

7.ダイアログボックスの[詳細設定]タブをクリックします。

次のようにダイアログボックスの設定に合わせて、beat設定ページ「外部メール連携管理」画面の⑤⑩を指定します。



チェックなし

メール送信サーバー:
 通信の保護 : OSSLを使用する しない ⑩

チェックあり

メール送信サーバー:
 通信の保護 : SSLを使用する しない ⑩

チェックなし

メール送信サーバー:
 通信の保護 : OSSLを使用する しない ⑤

チェックあり

メール送信サーバー:
 通信の保護 : SSLを使用する しない ⑤

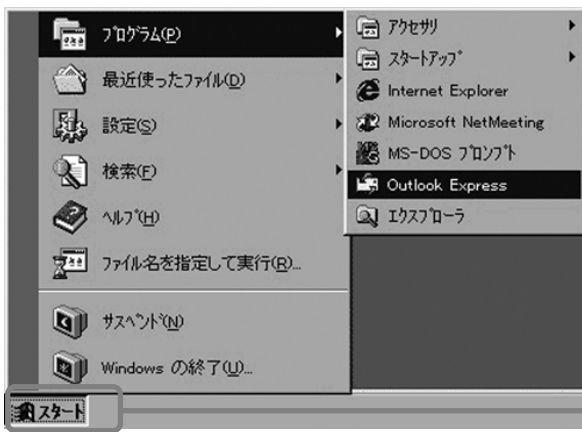


14

「メールクライアント設定」画面が表示されます。ここで表示された情報に従ってメールクライアントの設定をします。以降の設定で参照しますので、このページは表示したままにしてください。

補足

この本書では、メールクライアント（電子メールソフト）の設定例として、「Outlook Express 6.0」の設定方法を紹介します。それ以外のメールクライアントをご利用の方は、オンラインヘルプを参照してください。



15

「スタート」ボタンをクリックし、[プログラム] - [Outlook Express] をクリックします。「Outlook Express」が起動します。



16

[ツール] をクリックし、表示されるメニューから [アカウント] をクリックします。[インターネット アカウント] ダイアログが表示されます。



17

[メール] タブをクリックします。

18

[追加] ボタンをクリックします。プルダウンメニューの [メール] をクリックします。

メール設定 (7/10)

利用者が行う設定です



19

【インターネット接続ウィザード】で、任意の名前を入力してください。メールを送信した際、ここで入力した【表示名】が送信者として通知されます。かな漢字も使用できます。

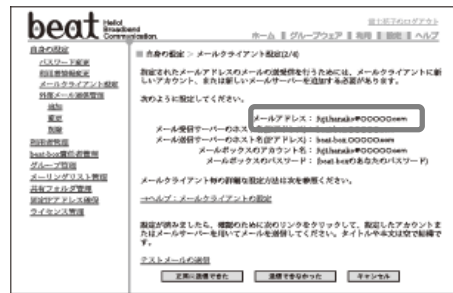


20

【次へ】ボタンをクリックします。

21

【電子メールアドレス】の欄に、beat設定ページ(手順14)に表示された【メールアドレス】を入力します。



22

【次へ】ボタンをクリックします。

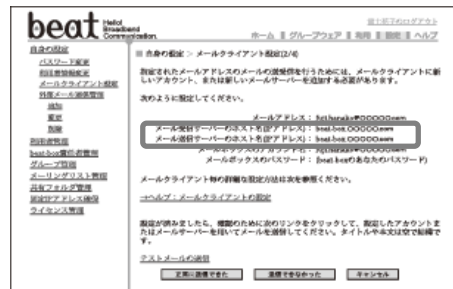


23

【受信メールサーバーの種類】で【POP3】を選択してください。

24

【受信メール (POP3, IMAP または HTTP) サーバー】、【送信メール (SMTP) サーバー】の欄に、beat設定ページ(手順14)に表示された【メール受信サーバーのホスト名 (IPアドレス)】、【メール送信サーバーのホスト名 (IPアドレス)】を入力します。



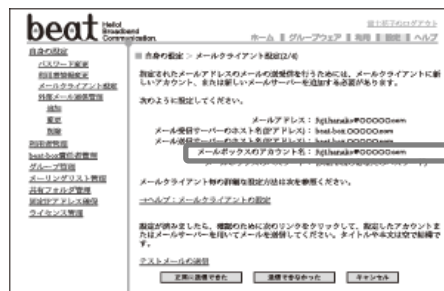
25

【次へ】ボタンをクリックします。



26

[アカウント名] の欄に、beat設定ページ（手順14）に表示された [メールボックスのアカウント名] のすべての文字列（@マーク以降も含む）を入力します。@マークより左側の部分は自動的に入力されますので、@マーク以降の文字列を追加してください。



注意!

通常、[アカウント名] にはメールアドレスの@マークより左側の部分を入力しますが、beat/basicサービスご利用時のメールクライアント設定では [メールボックスのアカウント名] に表示されたすべての文字列（@マーク以降も含む）を入力してください。すべての文字列を入力しないと、メールの受信ができない場合があります。

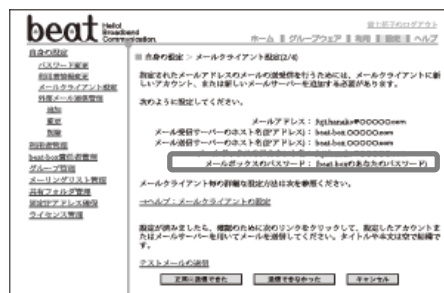


27

[パスワード] の欄に、beat設定ページ用パスワードを入力します。

注意!

[パスワード] にはbeat設定ページでログインするとき使用するパスワードを入力してください。



28

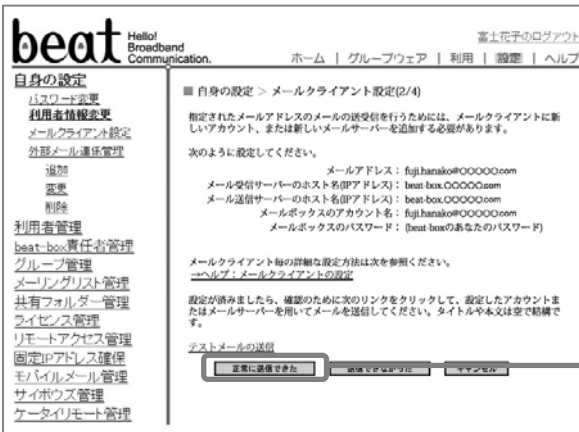
[次へ] ボタンをクリックします。



29

[完了] ボタンをクリックします。新しいbeat用メールアドレスが作成されました。

外部メール連係を設定しましょう。



30

手順14のbeat設定ページの「メールクライアント設定」画面に戻ります。



32

通常お使いのメールクライアントの新規メール作成ウィンドウが自動的に開きます。[送信者]、[宛先] は自動で指定されます。

33

[件名] と [メッセージ] を任意で入力し (何も入力しなくても結構です)、[送信] ボタンをクリックします。

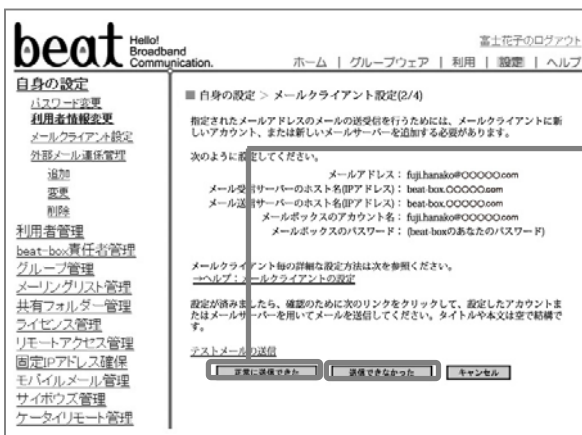


34

[送受信] ボタンをクリックします。

35

メールクライアント (Outlook Express) の [送信済みアイテム] を開き、手順32で作成したメールが送信できたか、送信できなかったかを確認します。



36

beat設定ページの「メールクライアント設定」画面で、**[正常に送信できた]** ボタンまたは**[送信できなかった]** ボタンをクリックします。**[送信できなかった]** ボタンをクリックした場合は画面の指示にしたがってメール設定をやり直してください。



37

「メールクライアント設定」画面が表示されます。受信確認を行います。



38

メールクライアント (Outlook Express) のメニューバーにある**[送受信]** ボタンをクリックします。

39

メールクライアント (Outlook Express) の**[受信トレイ]** を開き、beat-boxからのメールを受信できたか、受信できなかったかを確認します。

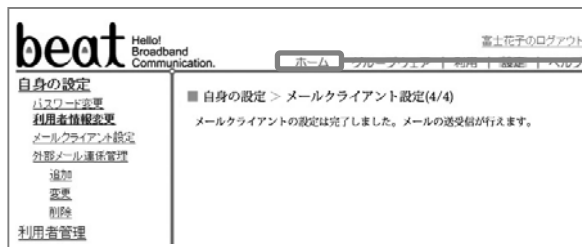


40

beat設定ページの「メールクライアント設定」画面で、**[テストメールを受信できた]** ボタンまたは**[受信できなかった]** ボタンをクリックします。**[受信できなかった]** ボタンをクリックした場合は画面の指示にしたがってメール設定をやり直してください。

41

「メールクライアント設定」画面が表示されたら、メールの設定は完了です。



42

[ホーム] をクリックするか、次に利用するメニューをクリックしてください。

メール設定(beat/idc をご利用の場合) (1/3)

利用者が行う設定です

beat/idc とは

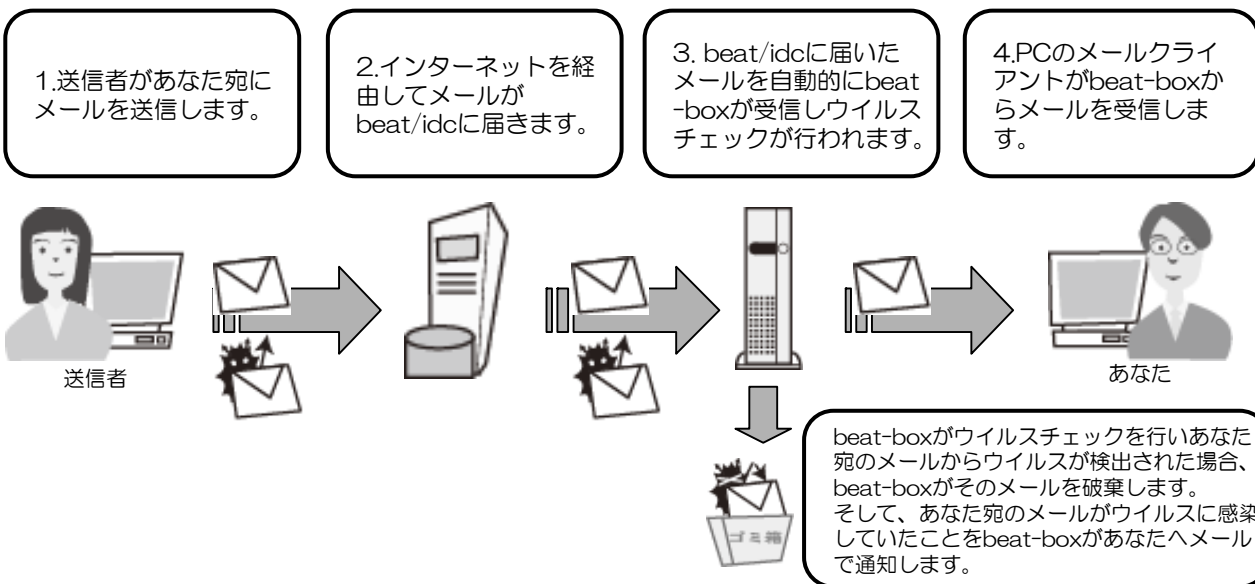
beat/idcは、1. 外部とのメールの送受信、2. お客様のホームページの公開 を担う、beat専用のインターネットデータセンターです。ご利用には「beat/idc ホスティングサービス」(オプションサービス)のご契約が必要です。

また、beat/basicサービスでは、複数のIDCを使ってメールの送受信ができます。beat/idcと外部IDC*1の併用*2も可能です。

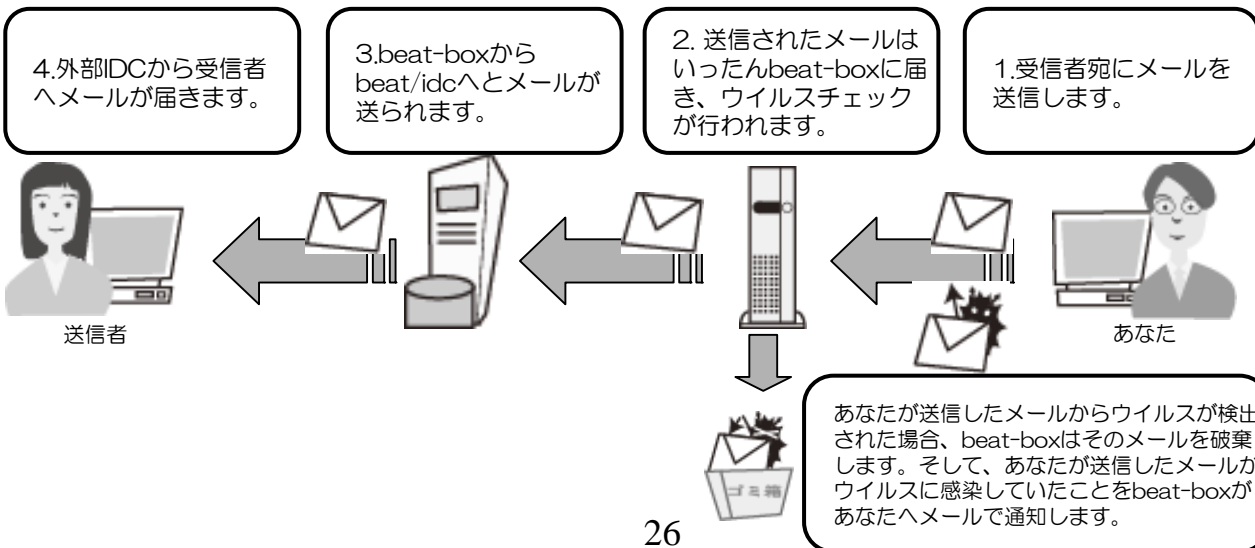
*1このクイックガイドではbeat/idc以外のIDCを「外部IDC」と呼びます。

*2beat/idcをご利用のお客様で外部IDCを利用したメール設定を行う場合は、15ページ「メール設定」をご覧ください。

メール受信の流れ (beat/idcをご利用の場合)



メール送信の流れ (beat/idcをご利用の場合)



メールの設定手順の概要(外部IDCご利用の場合)

beat/idcをご利用の場合、beat-boxに利用者を追加*するとbeat/idc上にもメールアカウントが作成されます。これは、beat-boxに設定されたユーザー情報がbeat/idcと連動しているからです。そのため、beat-boxに利用者登録したあとはメールクライアントの設定を行うだけでメールの設定は完了します。

*利用者を追加するにはbeat-box責任者が「利用者の追加」を行います。「利用者の追加」の詳細手順は7ページをご覧ください。

Step 0

beat-boxに利用者登録*されていますか？

登録されていない場合は、beat-box責任者へ「利用者の追加」を依頼してください。

*beat-boxに利用者登録されるとbeat/idc上にメールアカウントが作成されます。

(beat-box責任者は7ページをご覧ください。)

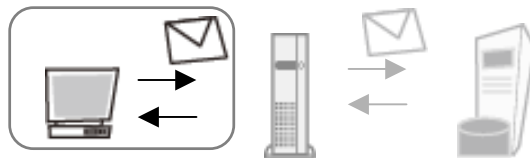


Step 1

beat-boxに登録された「メールクライアント設定」にそって、

メールクライアント(PC)の設定を行います。

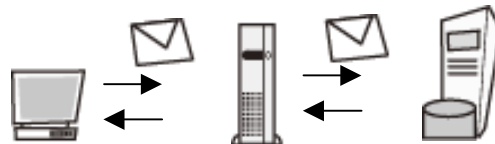
(28ページの手順1からご覧ください。)



Step 2

テストメールの送受信を行い、設定が正しいかを確認してください。

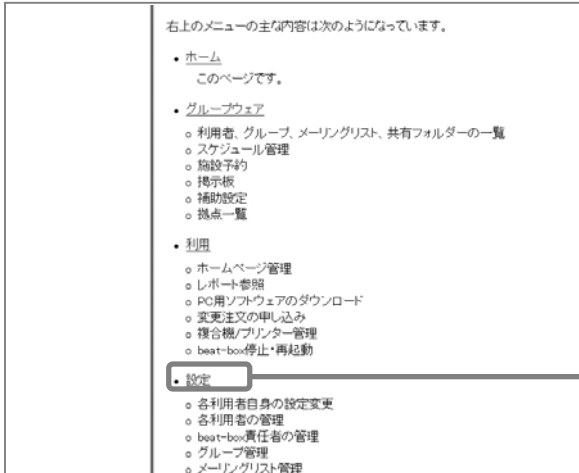
(24ページの手順30から42をご覧ください。)





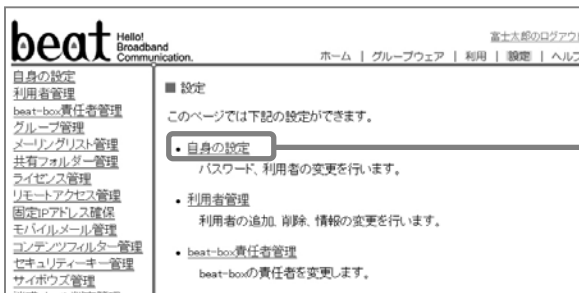
1

「**ログイン**」をクリックして、ログインしてください。詳しい手順は、10ページの手順1から6を参照してください。パスワード変更された方は、変更後のパスワードを用いてください。



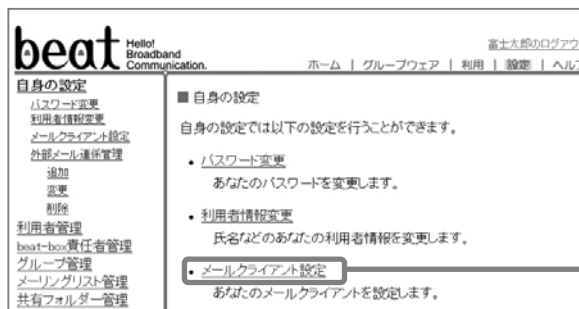
2

「**設定**」をクリックして「設定」画面に移動します。



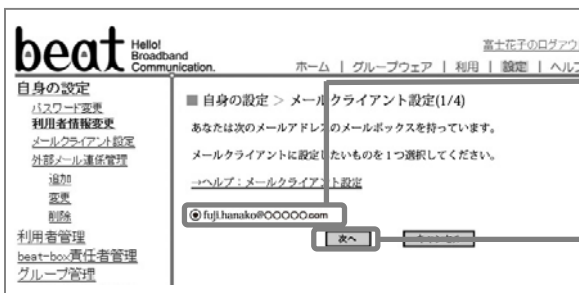
3

「**自身の設定**」をクリックして「自身の設定」画面に移動します。



4

「**メールクライアント設定**」をクリックします。



5

「メールクライアント設定」画面でこれからメールクライアント設定をするメールアドレスを選択してください。

6

「**次へ**」ボタンをクリックします。beat設定ページのガイドにそってメールクライアントの設定を行います。21ページの手順14へ続きます。

オンラインヘルプの見方

オンラインヘルプを使いましょう

beat-boxにはbeat-noc（ネットワークオペレーションセンター）との関係により常に最新のオンラインヘルプが用意されています。

* beat/basicサービスの機能や操作方法は予告なく変更されることがあります。



1 PCでブラウザを起動し、アドレス欄に **http://beat-box:8080/** と入力します。beat設定ページが表示されます。

用語 「beat設定ページ」とは、利用者がWebブラウザを使用してbeat/basicサービスの利用、設定を行うページです。

補足 手順1でbeat設定ページにアクセスできない場合は、**http://<beat-boxのLAN側IPアドレス>:8080/** と入力してください。
(例) **http://10.0.0.1:8080/**



2 [ヘルプ] をクリックします。



3 閲覧したい項目をクリックします。

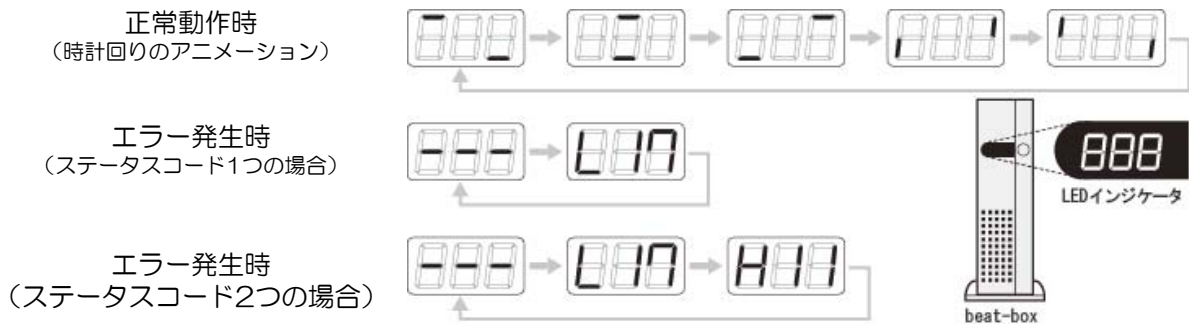
補足 オンラインヘルプに記載されていない内容については「beatコンタクトセンター」へお問い合わせください。

付録 ステータスコードについて

ステータスコードについて

ステータスコードはbeat-boxの動作状態を表します。正常動作時は、ステータスコードを表示するLEDランプの外周が時計回りのアニメーションを表示します。起動時やエラーが発生したときには、まず“- - -”を表示し、次に発生しているひとつ以上のステータスコードを順に繰り返し表示します。beat-boxのLEDインジケータにステータスコードが表示された場合は、お手数ですが「beatコンタクトセンター」へご連絡ください。

*お客様のオフィス環境によっては正常時でもなんらかのステータスコードが表示される場合があります。



ステータスコードの意味と対処方法

ステータスコードのおおまかな意味とその対処方法を説明します。ステータスコードが表示された場合は、お手数ですが「beatコンタクトセンター」へご連絡ください。

コード	ステータス	対処方法
	正常動作	不要
	beat-boxが起動し始めるときの合図です。一瞬表示されて次に起動を示すステータスコードを表示します。	しばらくお待ちください。
	beat-boxが安全にシャットダウンを行っています。	しばらくお待ちください。シャットダウンが終了すると、この表示が消灯します。
AXX (Aと数字が2行)	beat-boxが起動中	しばらくお待ちください。15分以上待っても状態が変わらない場合は、beatコンタクトセンターへご連絡ください。
EXX (Eと数字が2行)	beat-boxのリソース不足	beatコンタクトセンターへご連絡ください。
HXX (Hと数字が2行)	beat-boxのハードウェア障害	beatコンタクトセンターへご連絡ください。
J01	副回線でインターネット接続中	「回線二重化拡張機能」をご契約のbeat-boxのみに表示されます。
J13	副回線(Optional NIC ポート)のLANケーブル接続不良	LANケーブルが正しく接続されているか、ご確認ください。
J15	PPPによるDHCP不能	回線終端装置(ADSLモデム、ケーブルモデム、ONUなど)またはルーターを再起動し、10分ほど様子を見てください。それでも復旧しない場合は、ユーザーズガイドやオンラインヘルプに記載されている電源オフ/オンの方法にしたがってbeat-boxを再起動してください。 ※ご契約のISP、またはインターネット接続回線のサービスに障害が発生している場合にも表示されます。
J16	beat-boxがDHCPでIPアドレスを受け取れない	

J17	beat-boxが固定IPアドレスで通信できない	LANケーブルが正しく接続されているか、ご確認ください。	
J19	beat-boxから先、ISPまでのいずれかの障害	<p>回線終端装置（ADSLモデム、ケーブルモデム、ONUなど）またはルーターを再起動し、10分ほど様子を見てください。</p> <p>それでも復旧しない場合は、ユーザーズガイドやオンラインヘルプに記載されている電源オフ/オンの方法にしたがってbeat-boxを再起動してください。</p> <p>※ご契約のISP、またはインターネット接続回線のサービスに障害が発生している場合にも表示されます。</p>	
J20	ルータから先、インターネットまでのいずれかの障害		
J21	ISP障害（認証時）		
J22	ISP障害もしくはbeat-noc障害		
J23	ISP認証失敗		
J24	ISPとbeat-boxの固定IPアドレス不一致		
J25	ISP障害（非認証時）		
J26	ISPとインターネット間の接続障害		
L13	主回線（Internetポート）のLANケーブル接続不良		LANケーブルが正しく接続されているか、ご確認ください。
L14	LAN（LANポート）のLANケーブル接続不良		LANケーブルが正しく接続されているか、ご確認ください。
L15	PPPによるDHCP不能	<p>回線終端装置（ADSLモデム、ケーブルモデム、ONUなど）またはルーターを再起動し、10分ほど様子を見てください。</p> <p>それでも復旧しない場合は、ユーザーズガイドやオンラインヘルプに記載されている電源オフ/オンの方法にしたがってbeat-boxを再起動してください。</p> <p>※ご契約のISP、またはインターネット接続回線のサービスに障害が発生している場合にも表示されます。</p>	
L16	beat-boxがDHCPでIPアドレスを受け取れない		
L17	beat-boxが固定IPアドレスで通信できない		
L19	beat-boxから先、ISPまでのいずれかの障害		
L20	ルータから先、インターネットまでのいずれかの障害		
L21	ISP障害（認証時）		
L22	ISP障害もしくはbeat-noc障害		
L23	ISP認証失敗		
L24	ISPとbeat-boxの固定IPアドレス不一致		
L25	ISP障害（非認証時）		
L26	ISPとインターネット間の接続障害		
L27	主回線（Internetポート）のLANケーブル接続不良		
L50	スポーク拠点応答なし	ハブ拠点のみに表示されます。スポーク拠点に通信障害が発生して接続できない場合のほか、自拠点に通信障害が発生している場合にも、他のコードと共に表示されます。	
L51	ハブ拠点応答なし	スポーク拠点のみに表示されます。ハブ拠点に通信障害が発生して接続できない場合のほか、自拠点に通信障害が発生している場合にも、他のコードと共に表示されます。	
その他のコード	その他のエラー発生時	beatコンタクトセンターへご連絡ください。	

